

○ 5月29日(水) 曇り後雨 ソラチコザクラ

今日は北海道でも希少種のソラチコザクラを探して歩く予定にしている。

朝4時起床。空はどんよりと曇っていて、今にも降り出しそうな空が広がっている。ソラチコザクラがピセナイ山登山口へ行く林道に咲いているという情報があるので、新冠の奥のピセナイ山へ向けて5時半に出発した。恵庭から高速に乗り、高速が終わる厚真から一般道に下りて道の駅「新冠」に7時過ぎに到着した。一昨年、幌尻岳に登った時の基地にした懐かしい駅だ。雨が降り出し新冠に着いた頃には本降りに近い降り方になっていた。今日は天気が良ければピセナイ山に登ってもいいが、ソラチコザクラを探して沢沿いを歩くだけなので登る予定はない。雨の中を歩くのもいいだろうと、ゴアテックスに身を固めピセナイ林道へ向かった。

静内から道道71号線に入り道道111号線を静内川沿いに走る。御園を通り静内ダムまでは舗装道路を快調に走る。ここでダムを渡り左折するとダムの右岸に沿ったピセナイ林道が始まる。ネットによると土砂崩れが多く危険な道らしい。今日は雨も降っているし少々不安を抱きながら車を進めてしばらくすると道は左折して川を渡る橋に出た。よく見ると左折せずにまっすぐ行く林道があったので、何の林道かと思って車を降り歩いて林道に入ってみた。ゲートが開いていて、ゲートに「ペンケモンヨシ林道」と書いてある。さらに奥に10m余も入ったらなんと！車が土砂に埋まっている！埋まったばかりのようで中年男性がうろうろしている。「どうしたのか？けがはないか？同乗者はいないか？」など質問しても気が動転しているのか、うわ言のような言葉を発するだけで要領を得ない。私自身の身に危険を感じたので、その男を残してUターン、今来た道を急いで引き返した。

幸いにも道道111号の御園で交番を見つけ飛び込んで、状況を報告した。寝ぼけ眼で出てきたお巡りさんは、はじめ状況がよく理解できない様子だったが、だんだんとわかってきたようで、静内警察に電話していろいろ報告していた。

「今救助隊を編成して現場に向かうようになったから

しばらく待ってくれ、現場に案内してくれ」

20分位待った頃、消防署の車1台、ポンプ車1台、救急車1台、警察車1台の編成隊が到着した。

私が消防署の車に乗って先導し現場へ向かった。

男性は土砂に埋まった車の運転席に座っていた。

怪我はないらしいが、すぐ担架に固定して下まで運びだしストレッチャーに乗せて救急車に収容した。



私は消防署の車で交番まで戻りそこで解放された。あとはどうなったか知らないしその後の連絡も何もない。

余計な林道を覗きに行ったためにとんでもない事件に巻き込まれ、雨は降っているし、土砂崩れが怖いし、今日のソラチコザクラ探しは止めにした。危険な林道へむやみに入るな、という警告を受けたのだと思い、無謀な行動は止めることにした。

明日はサマニユキワリなどを探しにアポイ岳へ行く予定なので、まだ昼前で少々早いけど、雨の中を今日の泊予定地、道の駅「みついし」に向かった。道の駅に昼頃に着いたらここも大雨が降っている。しかたなく、今日ピセナイ林道でソラチコザクラを見ながら食べようと用意していた昼食を車内で食べた。

午後には雨が上がり天気はどんどん回復してきた。3時頃にはすっかり晴れ上がり夏の太陽が眩しいほどに射してきた。明日は天気が良さそうだ。

5時前に道の駅「みついし」に隣接している、昆布温泉・蔵三へ行ってゆっくりと入浴。
(この温泉は入浴料 440 円と安いし、露天風呂からは目の前に海が見えて素晴らしい。
コストパフォーマンス抜群だ。)

風呂から上がってレストランに行き生ビールでのどを潤しながらゆっくりと夕食。
すっかり出来上がり、明るいうちに就寝した。

今日は大事故に遭遇して、目的のソラチコザクラは見られなかったが、無事に一日が終わり、温泉に入ってビールも飲めたし、旨い夕食も食べられたし、良い日だった。